

ワイド東北

森総局	017 (776)	2654
FAX017	(773)	1261
弘前	0172 (32)	5690
八戸	0178 (43)	2730
むつ	0175 (22)	3083
三沢	0176 (53)	3032
岡総局	019 (624)	2234
FAX019	(653)	3625
一関	0191 (26)	3066
宮古	0193 (65)	1755
水沢	0197 (24)	3824
大船渡	0192 (27)	2342
北上	0197 (63)	2827
田総局	018 (833)	4477
FAX018	(835)	4615
大館	0186 (45)	2450
横手	0182 (32)	4040
形総局	023 (622)	2411
FAX023	(642)	5059
米沢	0238 (22)	3213
酒田	0234 (22)	0986
新庄	0233 (23)	5951
島総局	024 (521)	3331
FAX024	(521)	0323
郡山	024 (995)	3757
いわき	0246 (23)	0050
相馬	0244 (36)	2606
会津若松	0242 (27)	0275
白河	0248 (23)	2757

蔵王いこいの里
 つた若者に就労に必要な能力を身に付けてもらうため、長期の集団生活で生活訓練や労働体験を実施する事業。厚労省が全国のNPOなどに事業を委託し、二〇〇五年度から行っている。

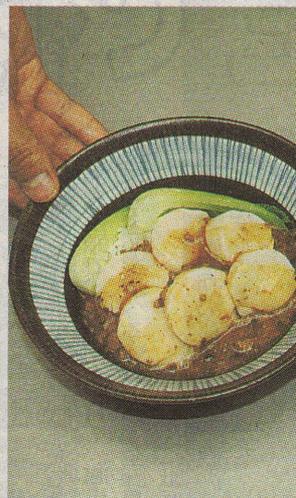
上市市のNPO法人「東北青少年自立援助センター・蔵王いこいの里」が、ニートや引きこもりの若者を支援する厚生労働省の委託事業「若者自立塾」の認定を受けた。今月から参加者を募集している。
 若者自立塾は、働く自信を失

「ニート」の就労応援

「若者自立塾」に認定

(栗原市)と、ユザネイチャーズネイチャー(山形県遊佐町)でも実施されており、同センターの認定が三例目。若者自立塾と同様の合宿形式で、長年、不登校や引きこもりの若者の支援に取り組んできた実績が評価された。
 合宿期間は三方月間で、随時参加者を受け付ける。定員は二十人で、義務教育を終え、一年以上就労、就学していない三十五歳ぐらいの未婚者が対象。同センターは「人間関係にうまくいって、心がふさぎこんでしまった若者たちに集まってほしい」と話している。
 連絡先は同センター023(679)4005。

「マーボー」



新メニューの「マーボーほたて丼」(左)と「じゃがいもホタテのかりかり焼き」

高校生

の新しい食べ方を考えていきたい」と話している。ゆき浅虫が外部からメニューを取り入れるのは初の試みという。価格は「マーボー」が九百八十円、「じゃがいも」が四百五十円になる予定。連絡先は、ゆき浅虫017(737)5151。



せんべいの焼き方を教える土谷さん(左から二人目)と車田さん(同三人目)

「岩手の怪物」の異名を持つ伝説の名馬トウケイニセイの凱旋(がいせ)ン)セレモニーが12日、岩手県奥州市の水沢競馬場で開かれた。
 会場となった場内のパドックには約500人のファンが押しかけ、記念

煎餅焼いて芸術体験

福島県立美術館「新世代2009」始まる

福島市森合の福島県立美術館で、県出身の若手現代美術作家を紹介する企画展「福島の新世代2009」が始まった。初日(十日)は、アートユニット「KOSUGEE16」が、作品の重要な要素となったせんべい作りを来場者に体験してもらおうワークショップを開催。市民を巻き込み芸術の楽しさを伝える作風が持ち味のユニットらしく、参加した親子連れなど三十人と芸術体験を共有した。企画展は三月一日まで。
 KOSUGEE16は、石川町出身の車田智志乃さん(三三)と、夫の土谷享さん(三三)でつくる二人組。展示空間全体を作品にした「ケンピ煎餅せんべい」を展覧した。「持ちつ持たれつ」の関係を生み出すための仕掛け作りが自分たちの仕事。せんべい作りは一つのコンロを囲んで持ちつ持たれつ、携帯食なのでいろいろな人に届けられる」と話す。
 会津若松市出身の宇田義久さんの抽象絵画と、郡山市出身の金暎淑さんが百日間にわたって自分の葬儀を行い、その様子を撮影した写真作品も展示されている。
 観覧料は一般・大学生四百円、高校生二百円、小中学生百円。月曜休館。

トウケイニセイが凱旋式
 写真を撮るなど往年の名馬との再会を楽しんだ。主戦騎手だった菅原勲(騎手)ら関係者も駆け



トウケイニセイ